

**日本共産党
静岡市議会議員団
ニュース**

日本共産党静岡市議会議員団
議員控室 TEL 054-254-2111
(内) 4541
FAX 054-272-4695
アドレス <http://www.jcps.jp/>
メール yksf5@jcps.jp

※本会議（総括質問）は静岡市ホームページから視聴できます。

- ①「原油価格・物価高騰等緊急対策」 約57億7千万円
 - (a)低所得や生活困窮世帯に給付金や支援金を給付
 - (b)学校やこども園の給食食材費高騰に対する財政支援
 - (c)モバイル決済の買い物でポイント還元や省エネ家電の購入助成
 - (d)中小企業の相談窓口の拡充と利子補給
 - (e)事業者の設備投資や販路拡大への助成
 - (f)オクシズ地域の経済回復支援
- ②「新型コロナウイルス感染症対策」 約16億1400万円
 - (a)4回目のワクチン接種の体制整備
 - (b)保健所や医療機関への支援
- ③「脱炭素社会の実現」約2億6900万円
事業者の太陽光発電設備導入や水素ステーションの整備等に助成
- ④「社会基盤整備等3億500万円」
清水港海づり公園整備や農業従事者への支援等

静岡市自治基本条例に基づく市民意見の聴取、静岡市の市民に対する説明責任について質します。

社会活力の源泉、定住人口の 維持・回復をめざすべき

静岡市第4次総合計画策定に向けて申し入れ



5月27日、日本共産党静岡市議会議員団は田辺信宏市長に「静岡市第4次総合計画策定に向けての提言」を手渡し、懇談を行いました。

内田隆典団長は、「4次総策定にあたっては、人口70万人維持を目標に掲げた3次総を厳しく評価し、総括する必要があるが全く不十分。さらに、今の4次総（案）は大型ハコモノ建設で交流人口等の拡大をめざすことが特徴だが、ウクライナ情勢や建設資材の高騰など先行き不透明な中、見直すべき」として、改めて4次総では定住人口の維持・回復を目標にすることを求め、各議員からは定住人口増の具体策を提案しました。

田辺市長は、「3次総では多くの意見を聞けていなかった。4次総ではしっかりと意見を聞くようにしたい。各議員会派からご意見を頂いているが、2元代表制のもと好ましいこと」と応じるとともに、子育て支援については重要であり、深掘りしたいと述べました。

党議員団の4次総への提言

定住人口の70万人回復を目標とし、「市民が主人公の静岡市」の実現をめざす。

政策の5つの柱

1. 命を大切にする静岡市
2. 子育てしやすい静岡市
3. 暮らしやすい静岡市
4. 環境にやさしい静岡市
5. ジェンダー平等の静岡市

事業への理解を深め市政改革に役立てる 市議団勉強会を開催

市議団勉強会を今年も行いました。

美和中と足久保小

5月25日には美和中学校とその敷地内に「同居」した足久保小学校を視察しました。運動場、体育館、プールなどは小中で使用する範囲を定めており、教室への通路は別々の出入り口を使っていました。校長は現在大きな支障はないと語っていましたが、元々中学校1校として設立された施設に小学校を併設したということで無理があるという印象は免れません。

本年度から全市一斉に小中一貫教育がスタートしています。同一敷地内ということでその利点を生かせるかとの問いには、他校と大差はないとの説明でしたが、一貫校への地ならしとしてそのモデルになっていくのではないかと感じました。

海釣り公園と人工海浜

前日24日には興津地区で建設が進んでいる海釣り公園、人工海浜の現地視察を行いました。清水港港湾区域内ということで県事業とも関連があり清水港管理局職員も説明に見えてくれました。すでに締め切り堤防は完成、埋め立て作業の真最中で大型ダンプカーが行き来していました。海釣り公園は円筒の柱が立ち並び、その上に鉄板を載せれば完成という段階まで来ていました。海浜整備はこれからということでした。かつて興津地区の海岸は清見潟ともいわれその美しさが称えられていました。

市議団として、これらの事業が市民にとって新たな憩いの場所となること、それが興津の町の活性化に寄与できるよう改めて強調しました。

今年は、延べ5日間、12科（うち3科は現地視察）という内容で行いました。



興津海釣り公園建設地を視察

2022年度 委員会所属

内田りゅうすけ議員

総務委員会

まちづくり拠点調査特別委員会



総務委員会は災害時の危機管理、人事、財政、清水庁舎建設、アリーナ、アセットマネジメント、来年度から始まる第4次総合計画など多岐にわたっています。大型ハコモノ事業が市民生活に影響を及ぼさないようチェック機能を果たしていきます。

杉本まもる議員

市民環境教育委員会

議会運営委員会

デジタル社会推進特別委員会



市民環境教育委員会は多岐にわたりますが、特に脱炭素社会に向けて大幅なCO₂削減が求められるもと、省エネと再エネの取り組みを求めています。また、デジタル社会は便利になる一方で、情報が一元化がされることから、個人情報の保護強化を求めます。そして、市民に開かれた民主的な議会運営に取り組んでまいります。

寺尾 昭議員

厚生委員会

総合交通政策特別委員会

清掃対策審議会



安心・安全の市政へ全力で

4次総で「大型ハコモノ構想」を提示している田辺市長。財政ひっ迫の折、財源をどうするのが焦点となります。前年度に引き続き厚生委員会を担当します。市民が求める福祉、教育、子育て、防災などの安全・安心の市政を前進させるため、皆さんの声を受け止め全力をあげます。

市川 正議員

観光文化経済委員会

中山間地調査特別委員会(委員長)

国民健康保険運営協議会



観光文化経済委員会では、新型コロナの長期化による経済の冷え込みのなか中小業者等への支援策、物価高騰対策等、市民に寄り添った議論をしていきたいと思ひます。

また、国民健康保険運営協議会では国保料の引き下げに向け取り組みたいと思ひます。